



『From 7 第 63 回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成 27 年 3 月 4 日(水) 19：15-21：00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【口腔内写真について】

歯科医師 油科 沙希（白鳥歯科インプラントセンター）

『口腔内写真の歯科医療における役割はとて大きく、現在の歯科臨床においては必須との認識が定着してきました。口腔内写真の最大のメリットは、医療者だけでなく、誰が見てもその状況を理解できることにあります。カルテに記載できないことも、写真を見ることで理解が可能です。口腔内写真には術前術後の比較や経年的変化を的確に表すことができますが、そのためには規格性のある撮影が不可欠です。また、写真の構図がきちんとしていることで、得られる情報量は格段に多くなります。そこで今回は歯科臨床に役立つ資料性を適切に備えた口腔内写真を撮るためには、どのようにしたらいいのかをまとめさせていただきます。』

2. 【歯間乳頭を考慮した前歯インプラント単独治療】

歯科医師 望月 研司（伊東市：望月歯科医院）

『第4回関東9大学歯周病学講座、日本歯周病学会 関東支部合同研修会で発表の機会を得ました。予演会をさせていただきます。皆さんに発表内容の不備などご指摘いただけるとうれしいです。よろしく願いいたします。』

3. 【自家骨を用いたGBRと歯槽頂アプローチを行った症例】

歯科医師 白鳥 清人（白鳥歯科インプラントセンター）

『今回は、上顎臼歯部欠損症例で重度に歯槽骨が欠損した症例に対してのオペを症例報告する。ノーベルクリニシャンによる治療計画の重要性、術野同部位からの骨採取、GBRのオペの進め方、オステオトーム、K2を用いたサイナス歯槽頂アプローチについて、本症例のオペビデオと写真を用いて詳しく報告してみたい。』